

名草地区防災計画



令和7年10月作成
名草地区防災会

目次

はじめに

1 地区の概要

- (1) 地区の範囲及び人口世帯数 1
- (2) 地震・津波 2
- (3) 風水害 2 4
- (4) 洪水 2 7
- (5) 内水 2 8

2 防災活動

- (1) 名草地区防災会規約 2 9
- (2) 平常時における防災活動 3 1
- (3) 中長期的な活動予定 3 2
- (4) 防災研修会の実施状況 3 3
- (5) 防災訓練の実施状況 3 4
- (6) その他の実施状況 3 5
- (7) 災害時における防災活動 3 6

3 資料編

- (1) 避難所・避難場所一覧 3 7
- (2) 自主避難場所一覧 3 9
- (3) 福祉避難所 3 9
- (4) 緊急時の連絡先・災害伝言ダイヤル 4 0
- (5) 避難行動の考え方 4 1
- (6) 災害時の情報入手先 4 2
- (7) 名草地区防災士資格取得数（補助金利用） 4 3
- (8) 名草地区防災資機材リスト 4 3
- (9) 災害「備え」チェックリスト 4 4
- (10) 大規模災害発生時の安否確認表示について 4 5

はじめに

和歌山市に影響をおよぼす災害として、南海トラフによる海溝型地震や中央構造線による内陸直下型地震、台風や集中豪雨による風水害等が想定されます。

名草地区は、低地の場所で津波及び洪水の浸水被害が想定されている。

本計画では地域の実情に即したものとするため、具体的な情報を盛り込むことで、万一の場合に対応できるように安全に避難する計画を策定するものである。

1 地区の概要

(1) 地区の特徴

① 地区の範囲

内原、紀三井寺、毛見、布引、三葛

② 地区の社会特性

・人口:17,126人 ・世帯数:8,161世帯
(令和7年4月1日現在の国勢調査基準人口世帯数)

(2) 地震・津波

① 防災マップ 津波

防災マップ 地震・津波編
名草を参照

https://www.city.wakayama.wakayama.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/036/436/menu_1/gyousei/sougobosai/bosaimap/page/jishin/16_jishin_map.pdf

②和歌山市地区津波避難計画

第1節 地域状況の把握

第1 津波浸水想定区域

当該地区の津波浸水想定区域は、和歌山県が公表した、「南海トラフ巨大地震」の津波浸水想定結果による。

その結果、図2に示すとおり、低地のほとんどが浸水する想定となった。

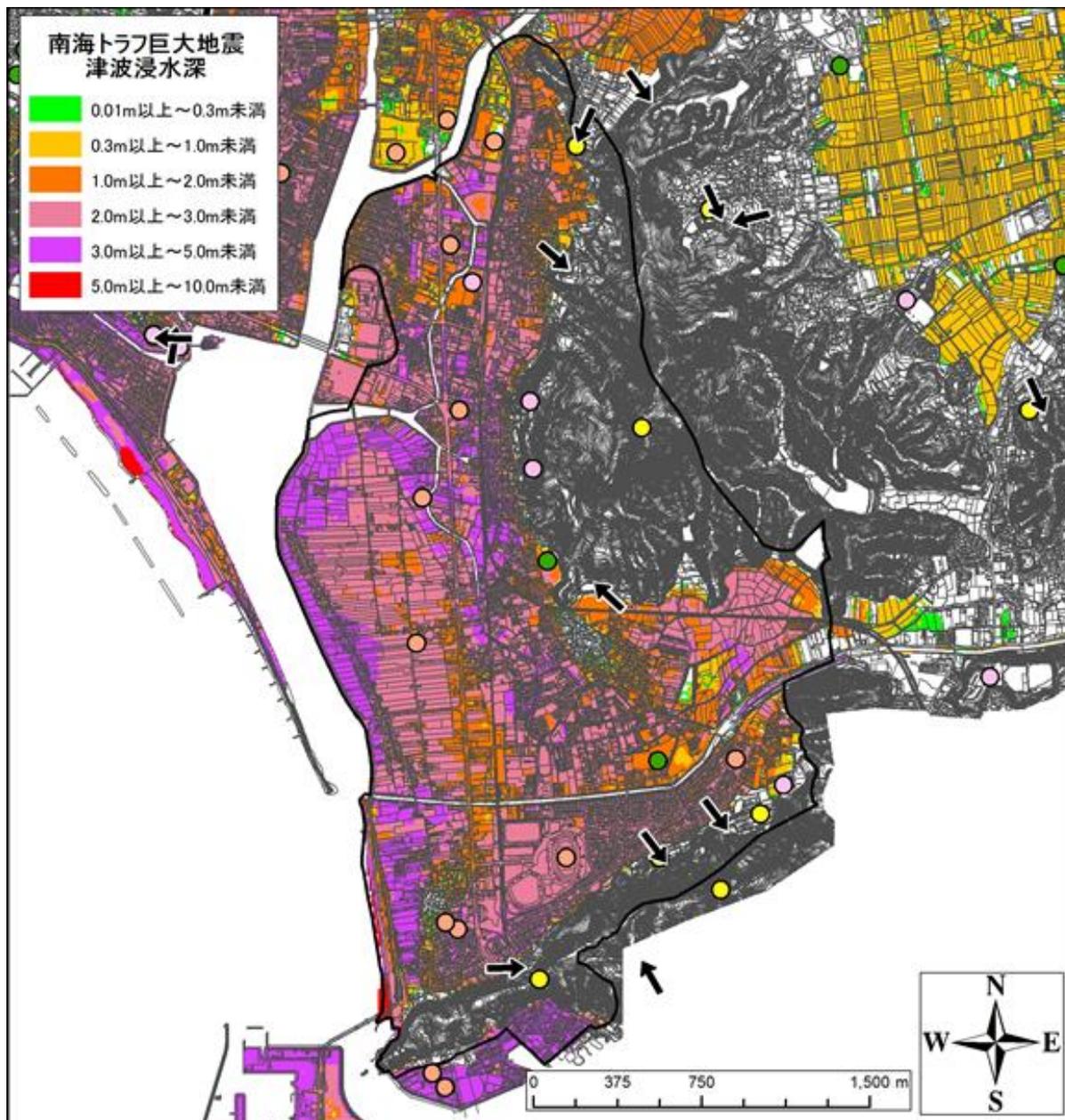


図2 津波浸水想定区域図

第2 避難対象地域

内原、紀三井寺、毛見、布引、三葛を避難対象地域として設定する。避難対象人口は約18,700人である。

第3 津波到達時間

地区における津波到達時間は、最短46分で浸水が開始する結果となっている。

第4 被害想定

和歌山県が平成26年に公表した被害想定結果をもとに、当該地区の地震・津波による被害の結果を表2-1に示す。

表1 被害想定調査結果(冬夕方18時風速8m/秒・早期避難しない)

全壊	死者	重傷者	軽傷者
約 5,700 棟	約 4,100 人	約 270 人	約 600 人

第2節 避難に必要な情報の確認

第1 避難体制の構築

1cmの津波が到達するまでの間に、安全な場所に避難するための検討を行う。

第2 避難開始時間、避難歩行速度の設定

地震発生から5分後に避難を開始し、避難行動要支援者の避難や家屋倒壊、道路閉塞等を考慮し、避難歩行速度は毎分30mを基本とする。

また、可能な限り、より標高が高く、より離れた安全な場所をめざすことが重要であることから、より迅速に避難した場合（避難歩行速度：毎分60m）の検証も行う。

【避難可能時間】

$$46分（1cm津波到達時間） - 5分 = 41分$$

【避難可能距離】

- ・幅員3m以上の避難路が整備されている緊急避難場所：
 $41分（避難可能時間） \times 60（秒換算） \times 0.5m/s = 1,230m$
- ・幅員3m以上の避難路が整備されていない緊急避難場所：
 $41分（避難可能時間） \times 60（秒換算） \times 0.35m/s = 861m$
- ・より迅速に避難した場合：
 $41分（避難可能時間） \times 60（秒換算） \times 1.0m/s = 2,460m$

第3 緊急避難場所、避難経路の設定

津波からの避難は、できるだけ安全な場所（避難先安全レベル2以上）に避難することが基本である。しかし、避難する時間がないなどの緊急時のみ、十分な高さが確保されている場所（避難先安全レベル1）に避難することも考える。

周辺の緊急避難場所を表2（P.6）に、避難経路や避難方向を図4（P.6）に示す。

平成25年3月公表の津波浸水想定を踏まえた和歌山県の緊急避難先の安全レベルの考え方にに基づき、どこの緊急避難場所がより安全であるかをわかりやすく表現するため、各避難先に安全レベルを設定している。

安全レベルの説明図を、右ページ図3に示す。

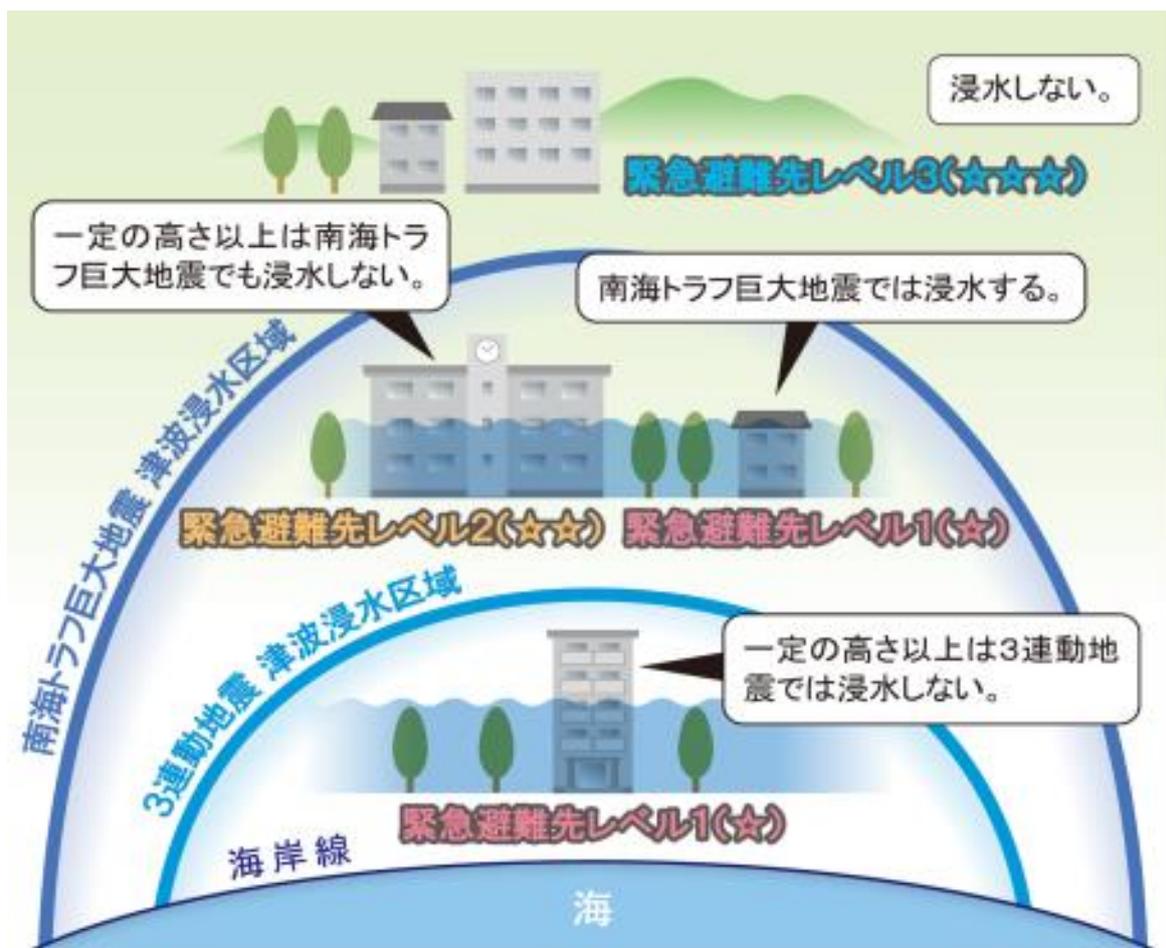


図3 津波避難先安全レベル説明図

表2-1 避難先安全レベル2以上の緊急避難場所一覧

避難先安全レベル	名称	住所	避難可能場所	収容可能人口(人)
☆☆☆ (3)	名草山周辺(内原神社登山口)	内原	周辺一帯	-
	名草山周辺(正行寺登山口)	三葛869	周辺一帯	-
	NTT社宅跡地周辺	三葛	周辺一帯	-
	みちる保育園周辺	毛見	周辺一帯	-
	峰の地蔵尊	毛見	周辺一帯	-
	船尾山北側斜面	内原	周辺一帯	-
	船尾山ハイキングコース	海南市船尾	周辺一帯	-
	紀三井寺 護国院	紀三井寺1201	境内一円	-
☆☆ (2)	名草山霊園	紀三井寺1301-1	敷地内	-
	本久寺	毛見423-1	山門前及び駐車場	-
	名草小学校	紀三井寺240	3階以上	1,672
	浜宮小学校	内原778-16	3階以上	2,095
	ファッション毛見II	毛見8	2階以上の共用部分	171

表2-2 避難先安全レベル2以上の緊急避難場所一覧

避難先安全レベル	名称	住所	避難可能場所	収容可能人口(人)
☆☆ (1)	紀州技研工業株式会社	布引469	H棟屋上	150
	紀三井寺苑	紀三井寺560-2	2階以上の共用部分	420
	紀三井寺公園	毛見200	敷地内	145,175
	紀三井寺陸上競技場	毛見200	陸上競技場スタンド内	1,842
	紀三井寺ガーデンホテルはやし	紀三井寺756	5階以上	450
	雇用促進住宅	紀三井寺1-28	5階の共用部分	300
	メトロヒルズ	三葛137-1	屋上駐車場、立体駐車場	-
	ファッション毛見	毛見10	2階以上の共用部分	90
	ローバス三葛	三葛247-1	5階の共用部分	135
	中央終末処理場	三葛510	屋上サッカー場	1,900
	和歌山マリーナシティホテル	毛見1517	2階宴会場	1,200
	和歌山県子ども・女性・障害者相談センター	毛見1437-218	3階多目的ホール	210
	琴の浦リハビリテーションセンター	毛見1451	3階以上	922

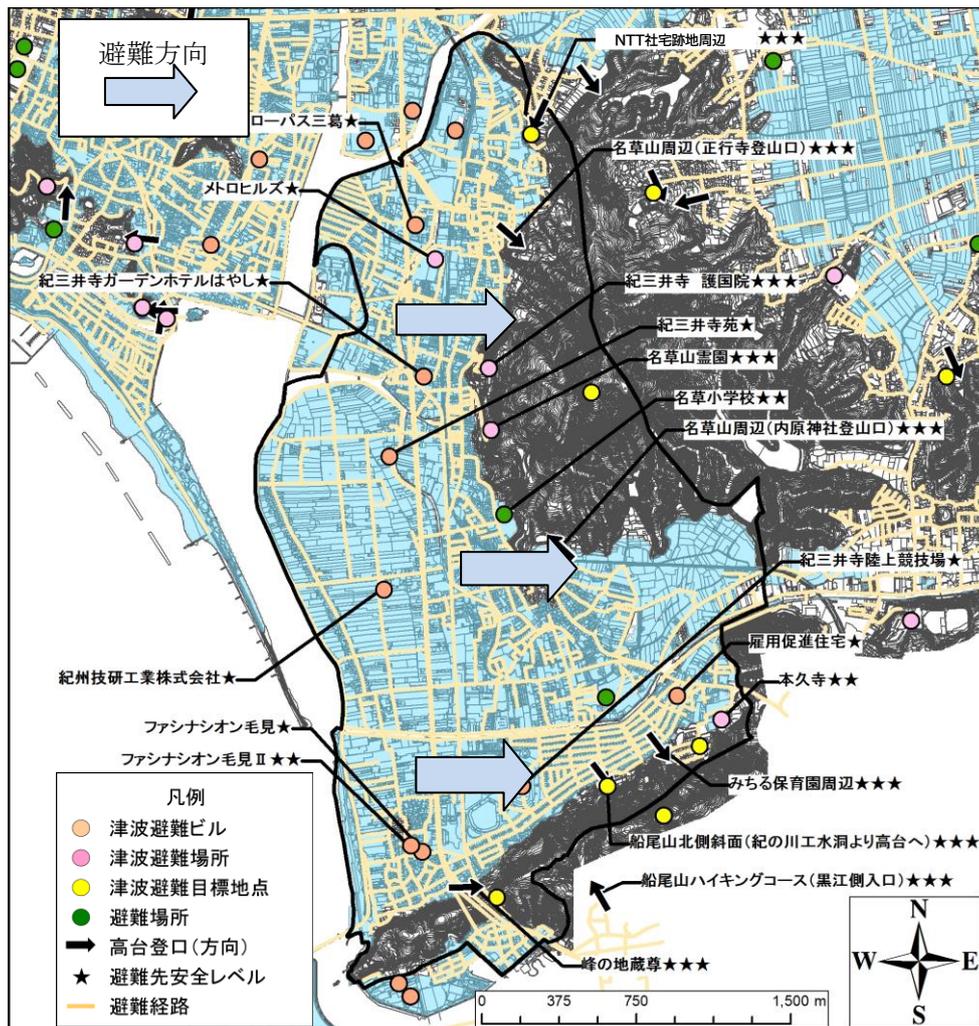


図4 避難経路図

第3節 迅速な避難の徹底

第1 地震発生から5分後に、毎分30mで避難した場合の避難可能な範囲の検証

緊急避難場所に、地震発生から5分後に、毎分30mで避難した場合に、津波が到達するまでの避難可能範囲を図5に示す。

その結果、地震発生後、すぐ避難した場合、地区全域で避難先安全レベル2以上の緊急避難場所に逃げ切れることが確認された

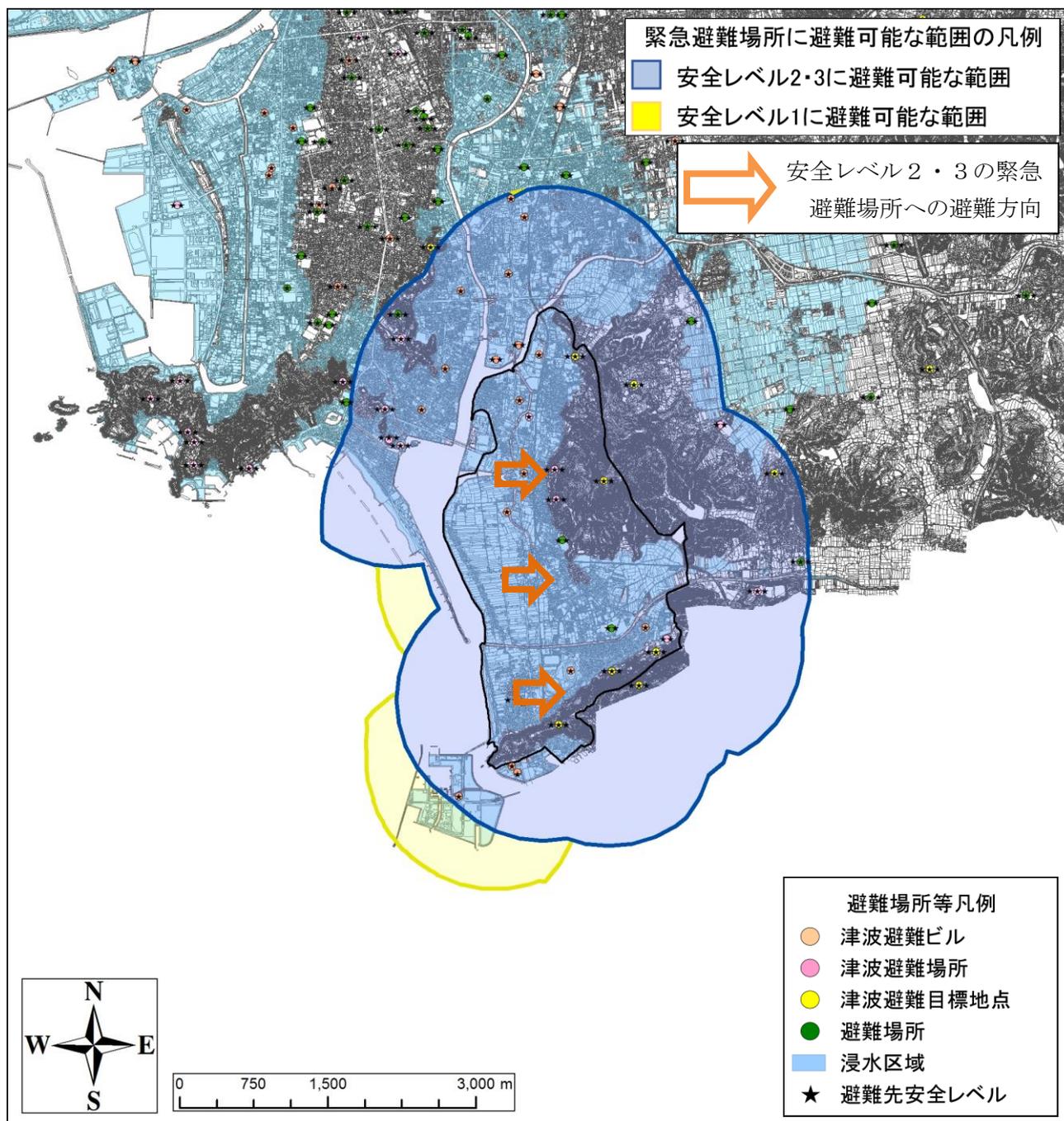


図5 地震発生から5分後に、毎分30mで避難した場合の避難可能範囲

第2 地震発生から5分後に、毎分60mで避難した場合の避難可能な範囲の検証

緊急避難場所に、地震発生から5分後に、より迅速に避難した場合（毎分60m）の津波が到達するまでの避難可能範囲を図6に示す。

その結果、図5(P.7)と比較して、避難可能範囲が拡大し、より安全な緊急避難場所への避難が可能であることが確認できた。

可能な限り、より標高が高く、浸水想定区域からより離れた安全な場所を目指すことが重要である。

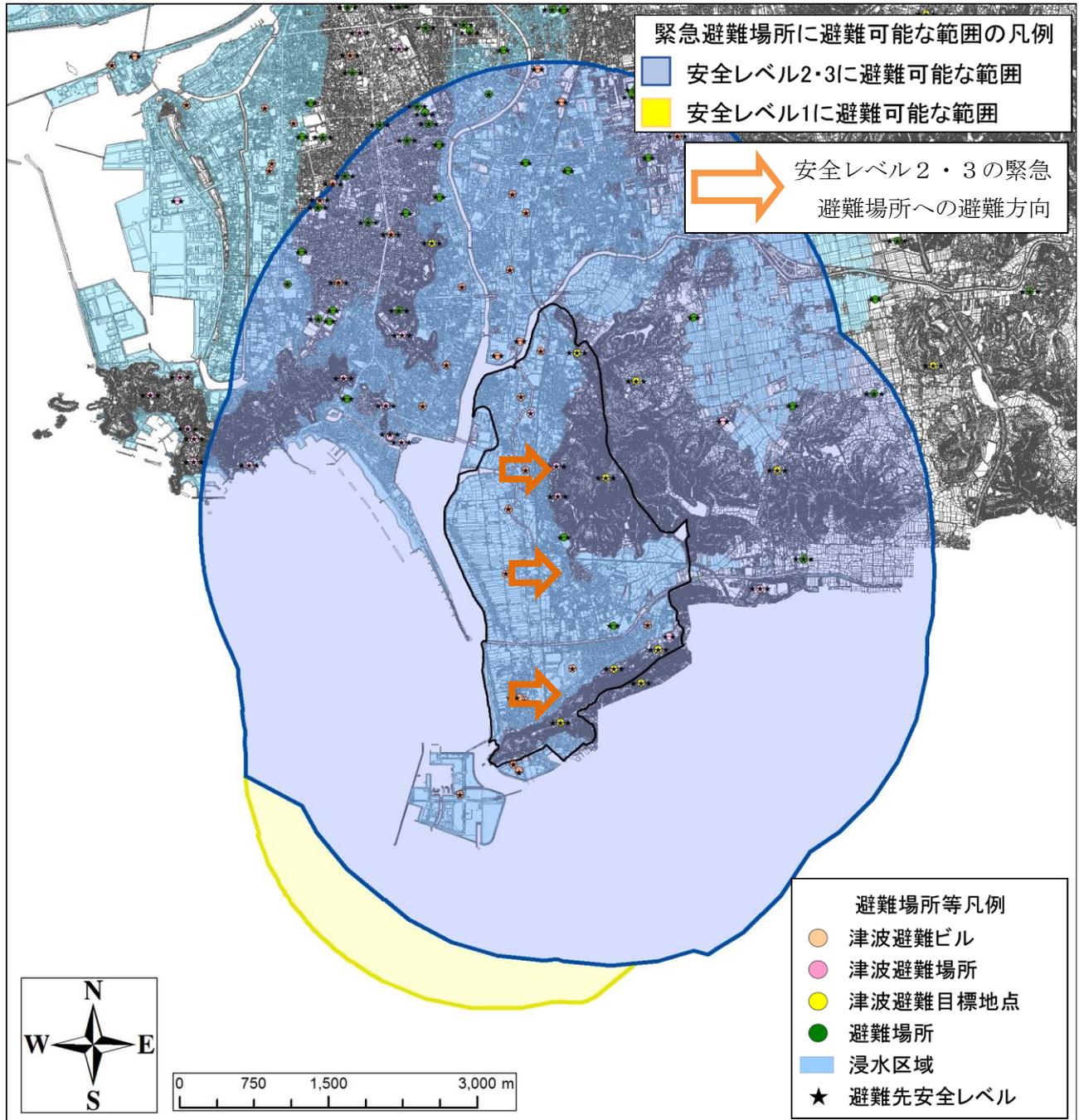


図6 地震発生から5分後に、より迅速に避難した場合(毎分60m)の避難可能範囲

第3 地域の事情を踏まえた避難方法

これまでの検証を踏まえ、避難経路や避難場所候補の検討を行った。地域の事情を踏まえた詳細な結果は、別添「検討結果図」に示した。

検討結果図

地域の近隣住民で、避難場所や地区の課題などに関して、ワークショップを実施したことなどを踏まえ、以下の6つのグループにとりまとめた。
これらの地域の実情を踏まえた内容を参考にしながら、避難を行うことが重要である。

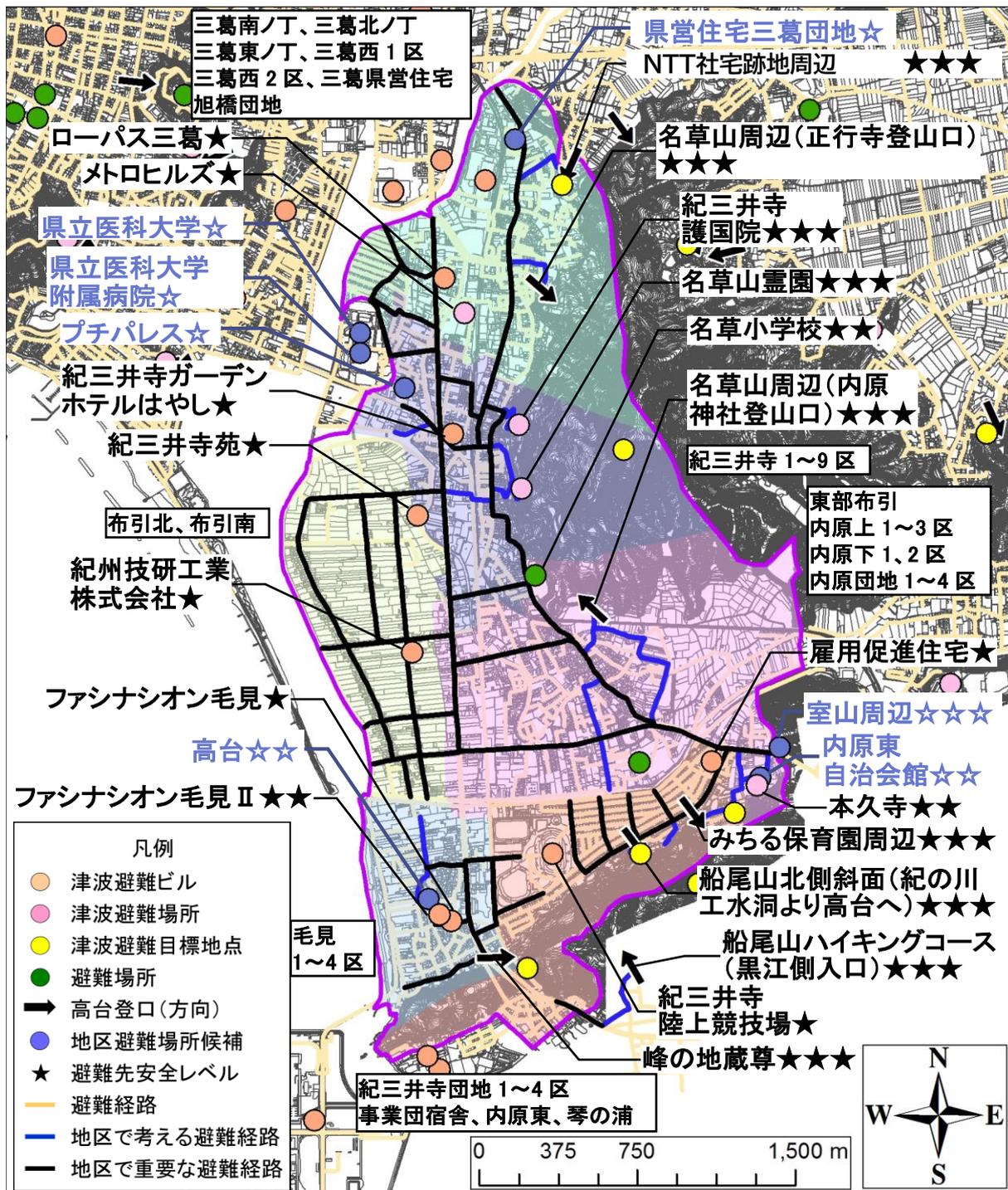


図7 名草地区グループ分け図

- 三葛南ノ丁、三葛北ノ丁、三葛東ノ丁、三葛西1区、三葛西2区、三葛県営住宅、旭橋団地

1. 避難場所に関する情報

自治会名	避難場所に関する情報	避難予定人数(概算)
三葛南ノ丁	名草山周辺（正行寺登山口） N T T社宅跡地周辺 名草山霊園、紀三井寺護国院 ローパス三葛、メトロヒルズ 県営住宅三葛団地の上層階	370人
三葛北ノ丁		980人
三葛東ノ丁		270人
三葛西1区		620人
三葛西2区		240人
三葛県営住宅		320人
旭橋団地		800人

2. 地区の課題に関する情報（危険箇所など）

- ・道が狭いところが多い。
- ・地域の一部では、家屋が倒壊するおそれがある。
- ・落橋のおそれがある。
- ・避難場所まで遠い。

【MEMO】

3. 検討結果図

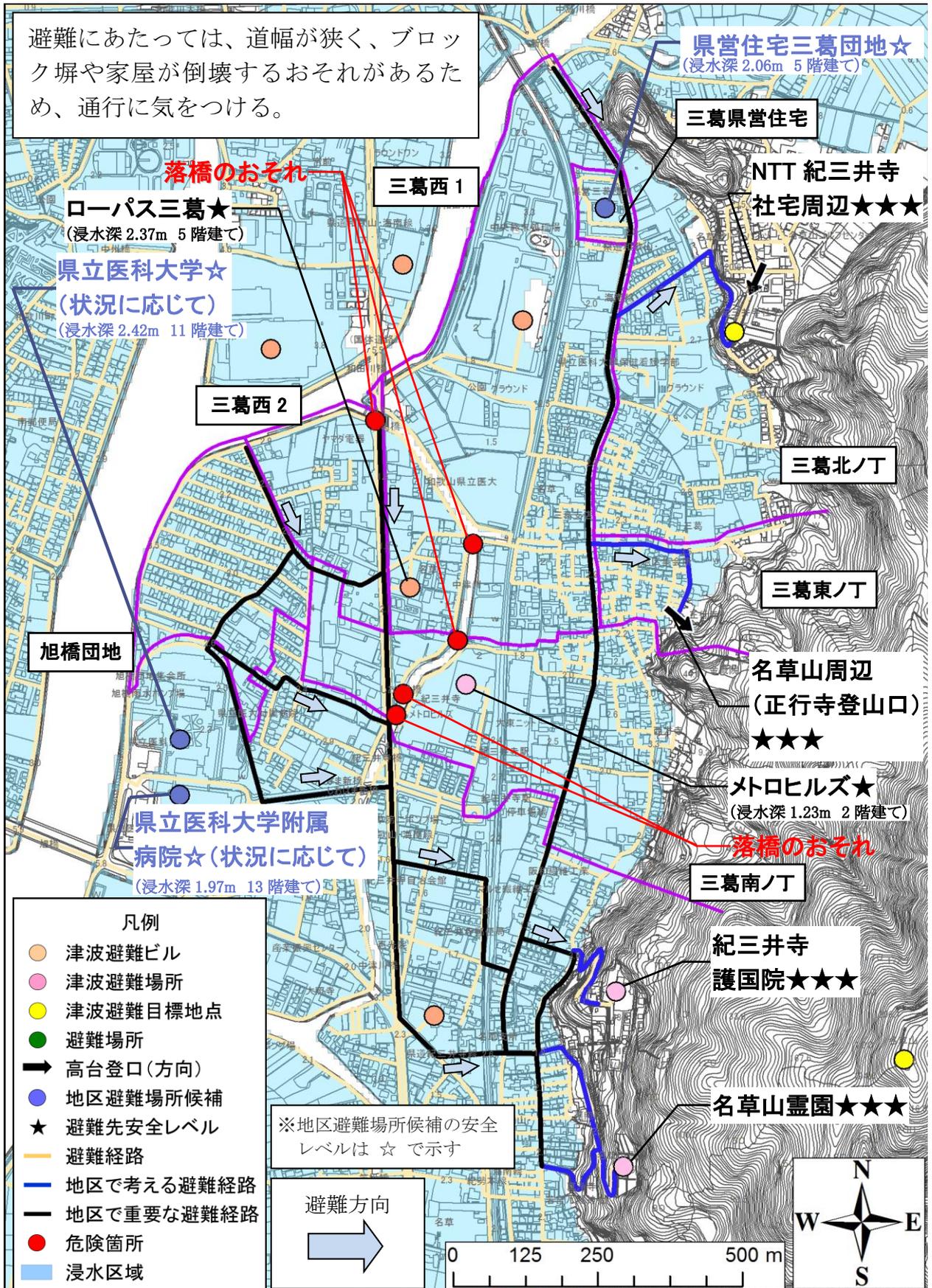


図8 三葛南ノ丁、三葛北ノ丁、三葛東ノ丁、三葛西1区、三葛西2区、三葛県営住宅、旭橋団地検討結果図

➤ 紀三井寺1～9区

1. 避難場所に関する情報

自治会名	避難場所に関する情報	避難予定 人数(概算)
紀三井寺1区	名草小学校 名草山霊園 紀三井寺護国院 紀三井寺ガーデンホテルはやし	330人
紀三井寺2区		480人
紀三井寺3区		400人
紀三井寺4区		270人
紀三井寺5区		370人
紀三井寺6区		370人
紀三井寺7区		440人
紀三井寺8区		370人
紀三井寺9区		350人

2. 地区の課題に関する情報（危険箇所など）

- ・避難場所が少ない。
- ・地域の一部では、防災行政無線が聞こえにくい。
- ・空き家が多い。

【MEMO】

3. 検討結果図

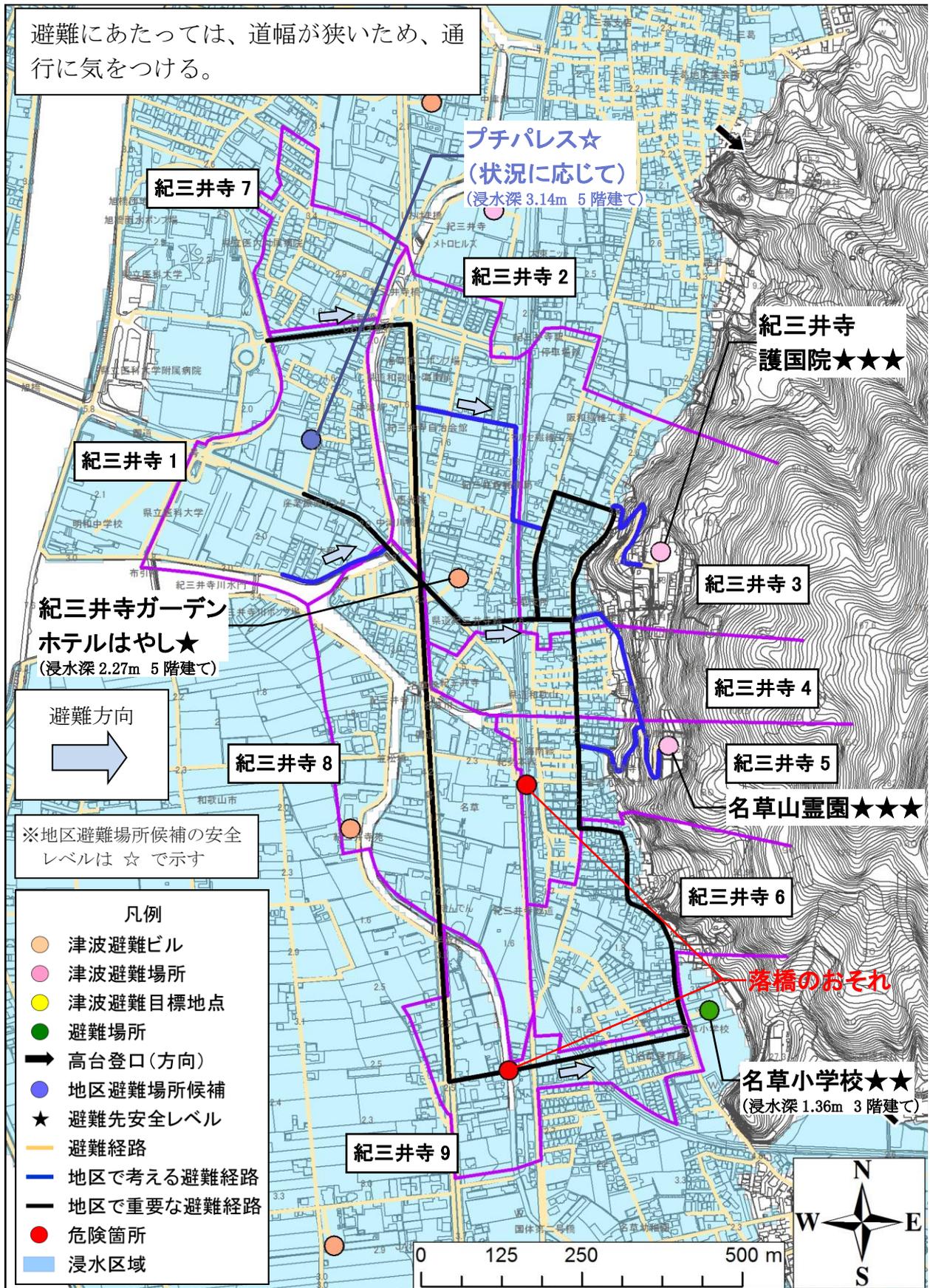


図9 紀三井寺1～9区検討結果図

➤ 布引北、布引南

1. 避難場所に関する情報

自治会	避難場所に関する情報	避難予定 人数(概算)
布引北	名草山周辺（内原神社登山口）、名草山霊園	330人
布引南	紀三井寺苑、紀州技研工業株式会社	320人

2. 地区の課題に関する情報（危険箇所など）

地区の課題に関する情報（危険箇所など）

- ・落橋（新川橋、布引橋等）のおそれがある。

【MEMO】

3. 検討結果図

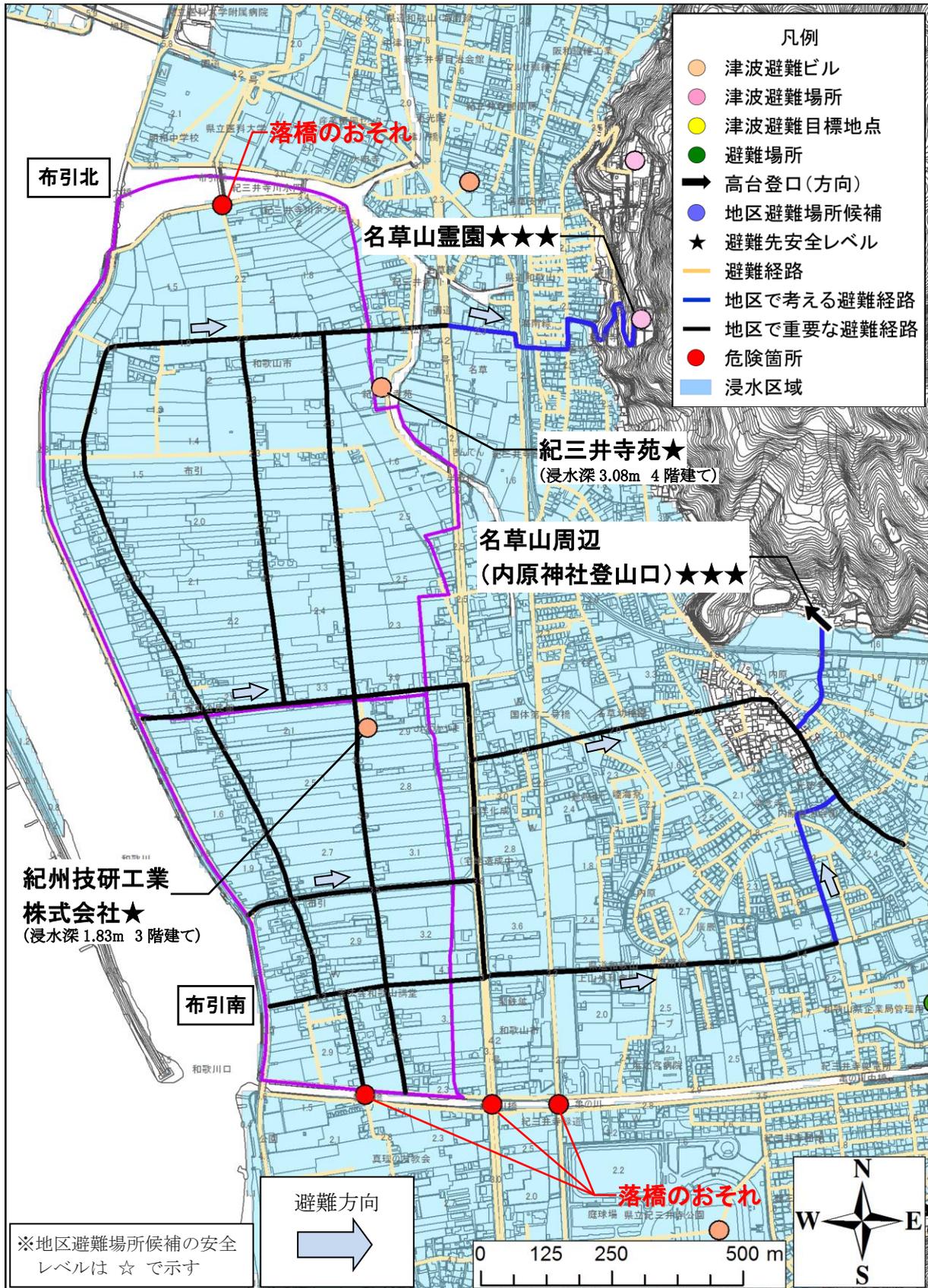


図10 布引北、布引南検討結果図

➤ 東部布引、内原上1～3区、内原下1、2区、内原団地1～4区

1. 避難場所に関する情報

自治会名	避難場所に関する情報	避難予定 人数（概算）
東部布引	名草山周辺（内原神社登山口） 名草小学校 室山周辺	430人
内原上1区		250人
内原上2区		400人
内原上3区		450人
内原下1区		700人
内原下2区		480人
内原団地1区		620人
内原団地2区		640人
内原団地3区		480人
内原団地4区		270人

2. 地区の課題に関する情報（危険箇所など）

- ・落橋（羽鳥橋等）のおそれがある。
- ・ため池の決壊のおそれがある。

【MEMO】

3. 検討結果図

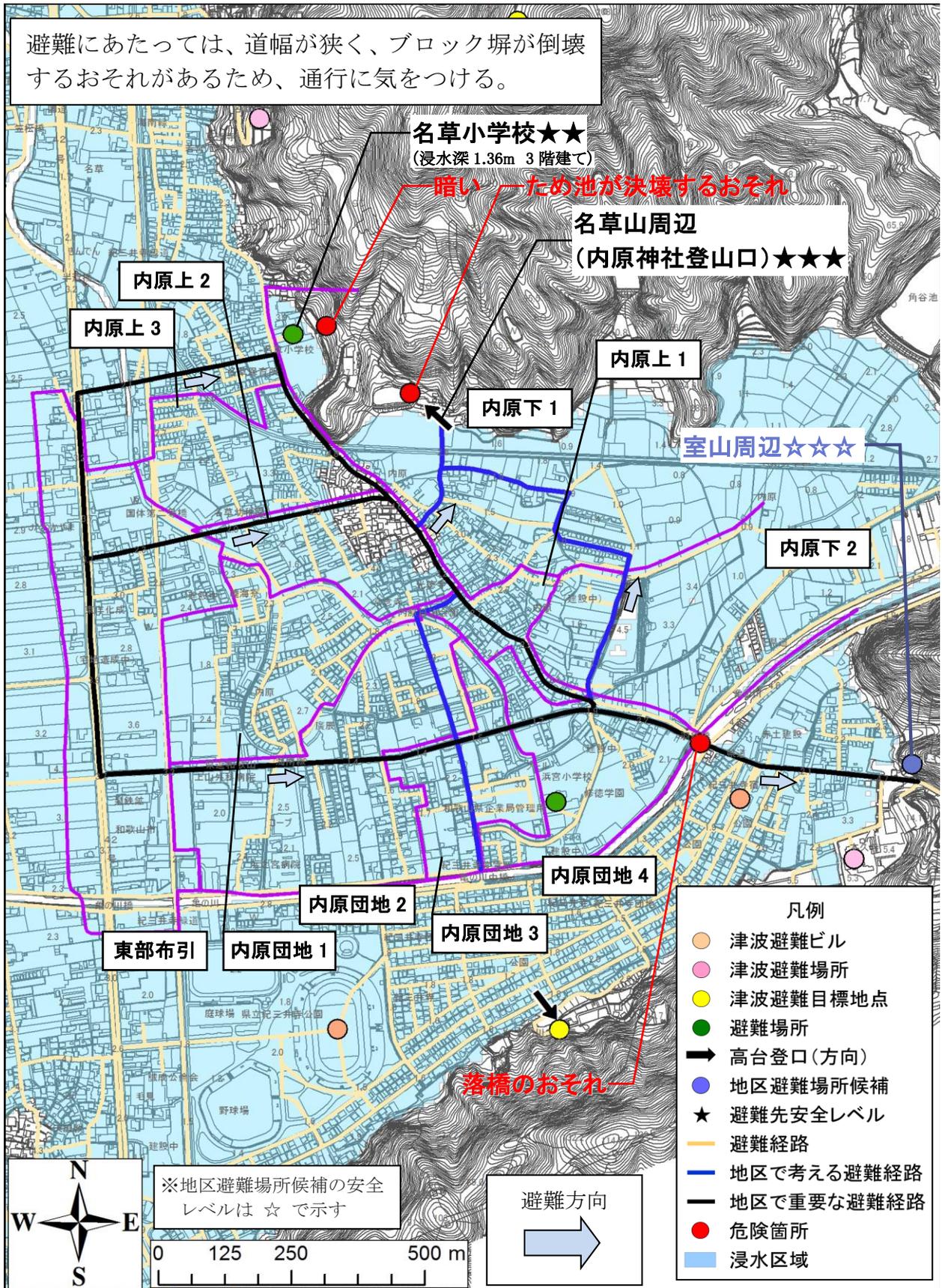


図11 東部布引、内原上1～3区、内原下1、2区、内原団地1～4区検討結果図

➤ 毛見1～4区

1. 避難場所に関する情報

自治会名	避難場所に関する情報	避難予定 人数（概算）
毛見1区	峰の地蔵尊、紀三井寺陸上競技場 ファッション毛見、ファッション毛見Ⅱ ファッション毛見Ⅱ付近の高台	990人
毛見2区		530人
毛見3区		410人
毛見4区		450人

2. 地区の課題に関する情報（危険箇所など）

- ・がけ崩れのおそれがある。
- ・避難にあたって、国道での事故のおそれがある。

【MEMO】

3. 検討結果図

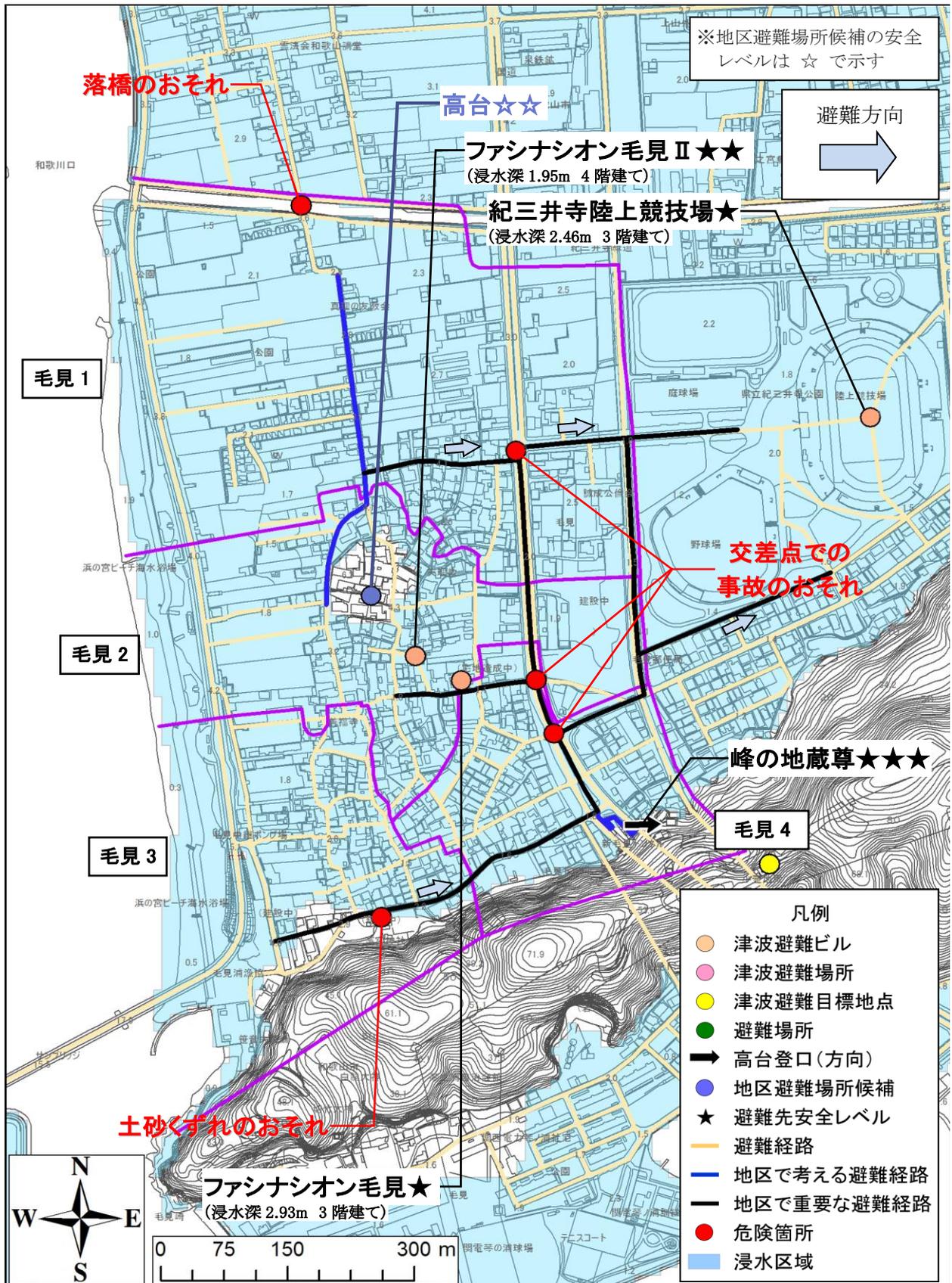


図12 毛見1~4区検討結果図

➤ 紀三井寺団地1～4区、事業団宿舎、内原東、琴の浦

1. 避難場所に関する情報

自治会名	避難場所に関する情報	避難予定 人数（概算）
紀三井寺団地1区	みちる保育園周辺、船尾山北側斜面 本久寺、紀三井寺陸上競技場 内原東自治会館、雇用促進住宅 船尾山ハイキングコース	430人
紀三井寺団地2区		740人
紀三井寺団地3区		780人
紀三井寺団地4区		790人
事業団宿舎		440人
内原東		400人
琴の浦		390人

2. 地区の課題に関する情報（危険箇所など）

- ・地域の一部では、防災行政無線が聞こえにくい。
- ・避難場所が山の斜面になっており、くずれる危険性がある。

【MEMO】

3. 検討結果図

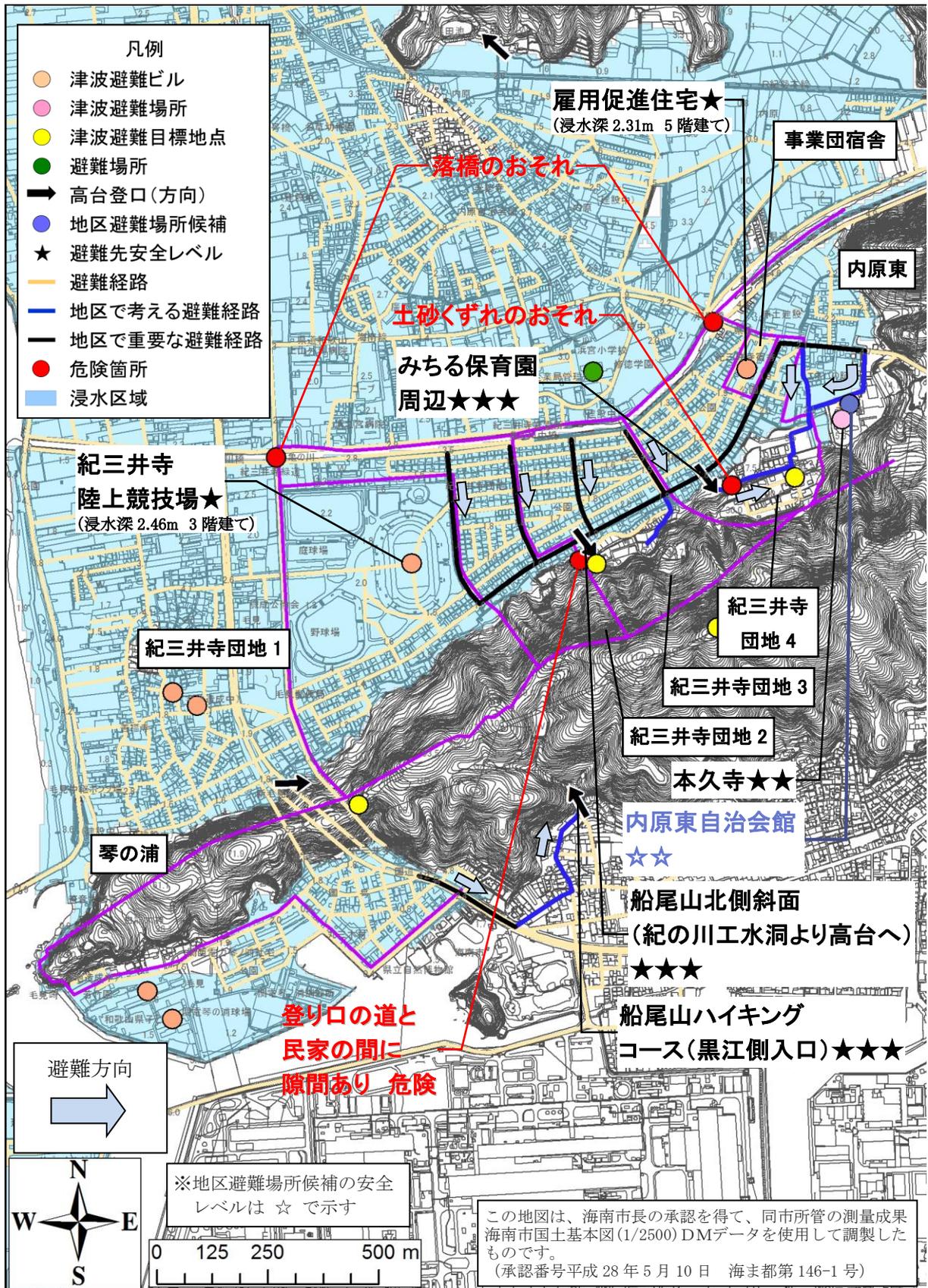


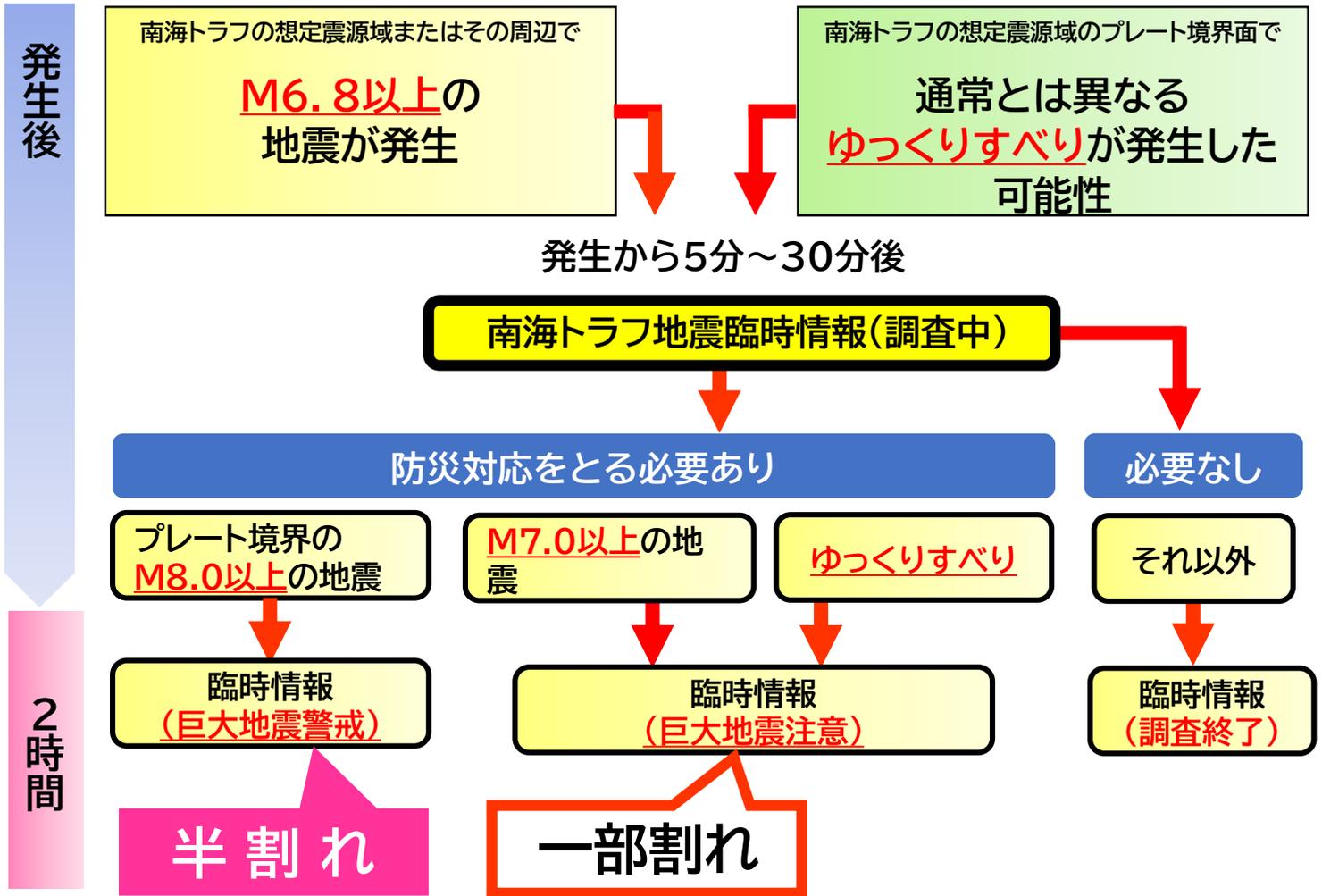
図13 紀三井寺団地1~4区、事業団宿舍、内原東、琴の浦検討結果図

③ 名草地区タイムライン（地震編）

※震度6弱以上を想定

	経過時間	一般的な出来事	住民	野崎地区防災会
初動対応	発災直後	地震発生 建物倒壊、出火が始まる 停電、断水、ガスが止まる	安全確保	安全確保
	1時間まで	避難所開設 救命救急活動 火災が拡大 二次災害の呼びかけ	一時避難	地区防災本部設置 情報収集 安否確認 要配慮者支援
応急対応	6時間まで	被害の中心地や範囲が判明	安全な場所へ避難する	避難所開設支援
	1日まで	物資の配布 自衛隊が到着	避難所を運営する	避難所運営体制の構築 備蓄の配付
	3日まで	広域火災が鎮火、停電解消 ボランティア支援開始 生き埋めなどの生存低下		在宅避難者の把握
復旧期	2週間まで	行方不明者の搜索完了 仮設住宅の建設 水道やガスの復旧		
復興期	1か月後	罹災証明発行 仮設住宅入居開始		

④ 南海トラフ地震臨時情報フロー図



南海トラフ地震臨時情報が発表されたら！

地震発生からの目安	南海トラフ地震臨時情報		
	巨大地震警戒	巨大地震注意	調査終了
～1週間	<ul style="list-style-type: none"> 日頃からの地震への備えの再確認 事前避難の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃からの地震への備えの再確認 	
～2週間	<ul style="list-style-type: none"> 日頃からの地震への備えの再確認 		
2週間～	地震の発生に注意しながら通常の生活を行う		

日頃からの備えのポイント！

- ・防災ハザードマップで災害リスクや避難場所等の確認
- ・家庭における備蓄品(飲料水・食料・日用品等)の確認
- ・地震の揺れへの対策(家具の固定・住宅の耐震化等)
- ・防災情報の収集手段の確認(防災情報メール等)

(3) 風水害

① 防災マップ 風水害編

浸水する想定である。

防災マップ 風水害編
名草を参照

https://www.city.wakayama.wakayama.jp/res/projects/default_project/_page_/001/049/769/menu_1/gyousei/sougobosai/bosaimap/page/fusuigai/16_fusuigai_map.pdf

図14 名草地区防災マップ（風水害）

② 名草地区タイムライン（水害版）



警戒 レベル	気象庁が発表	行政	住民	有功地区防災会
5	大雨特別警報 氾濫発生情報	緊急安全確保	命の危険が迫っているため、今いる場所よりも安全な場所へ直ちに避難する	
4	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 高潮警報	避難指示	近くの避難所や自宅の上階へ避難開始	支部や避難所と連携し、必要な支援を行う
3	大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報	高齢者等避難	要配慮者とその支援者は近くの避難所や自宅の安全な場所へ避難開始	
2	大雨注意報 洪水注意報 氾濫注意情報		テレビやラジオ等で気象情報に注意する	インターネット等で情報を収集する
1	早期警戒情報			テレビやラジオ等で気象情報に注意する

③ 大雨時の避難行動

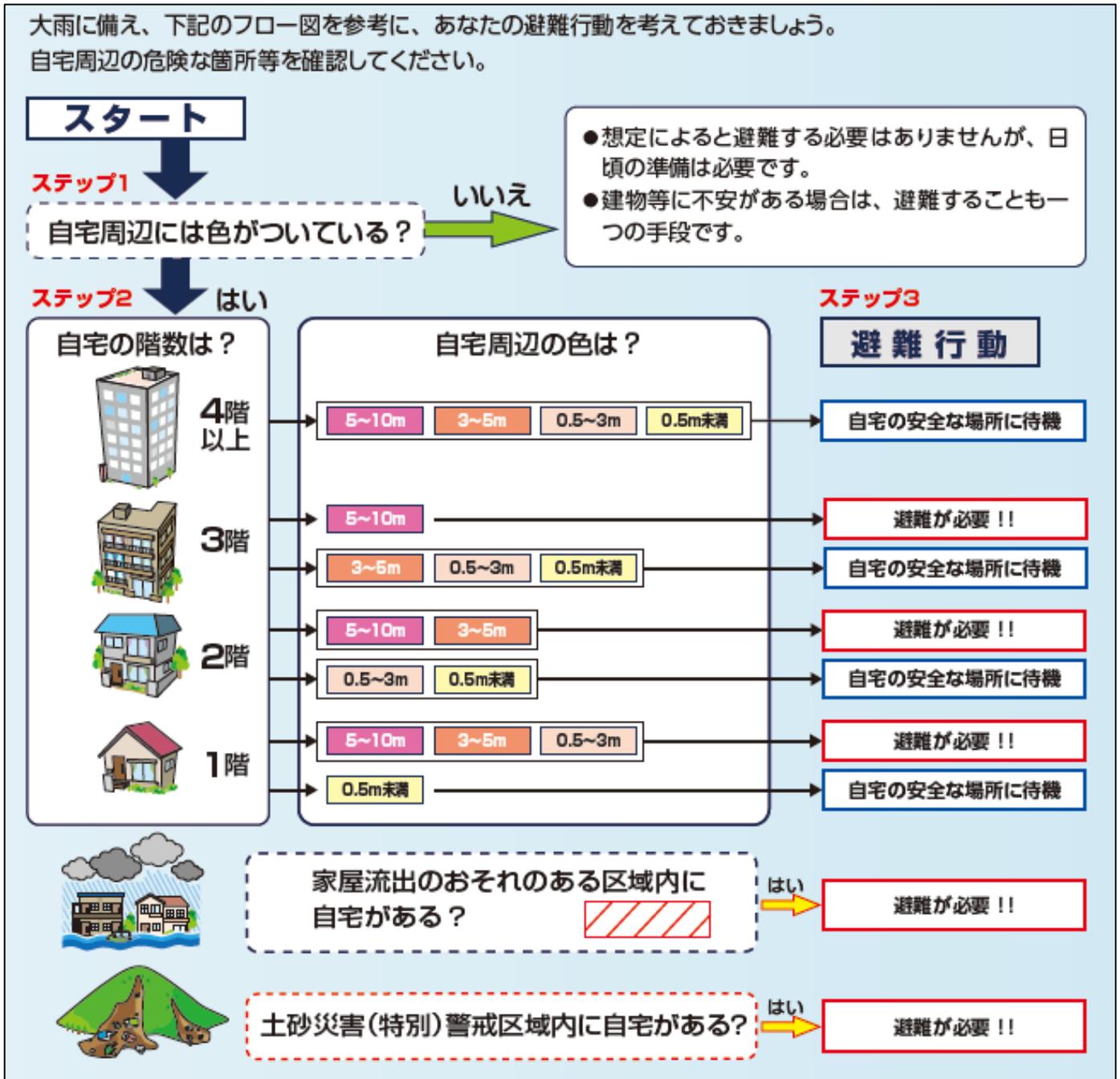


図 1 5 大雨時の避難行動判断フロー図

(4) 洪水

洪水ハザードマップ

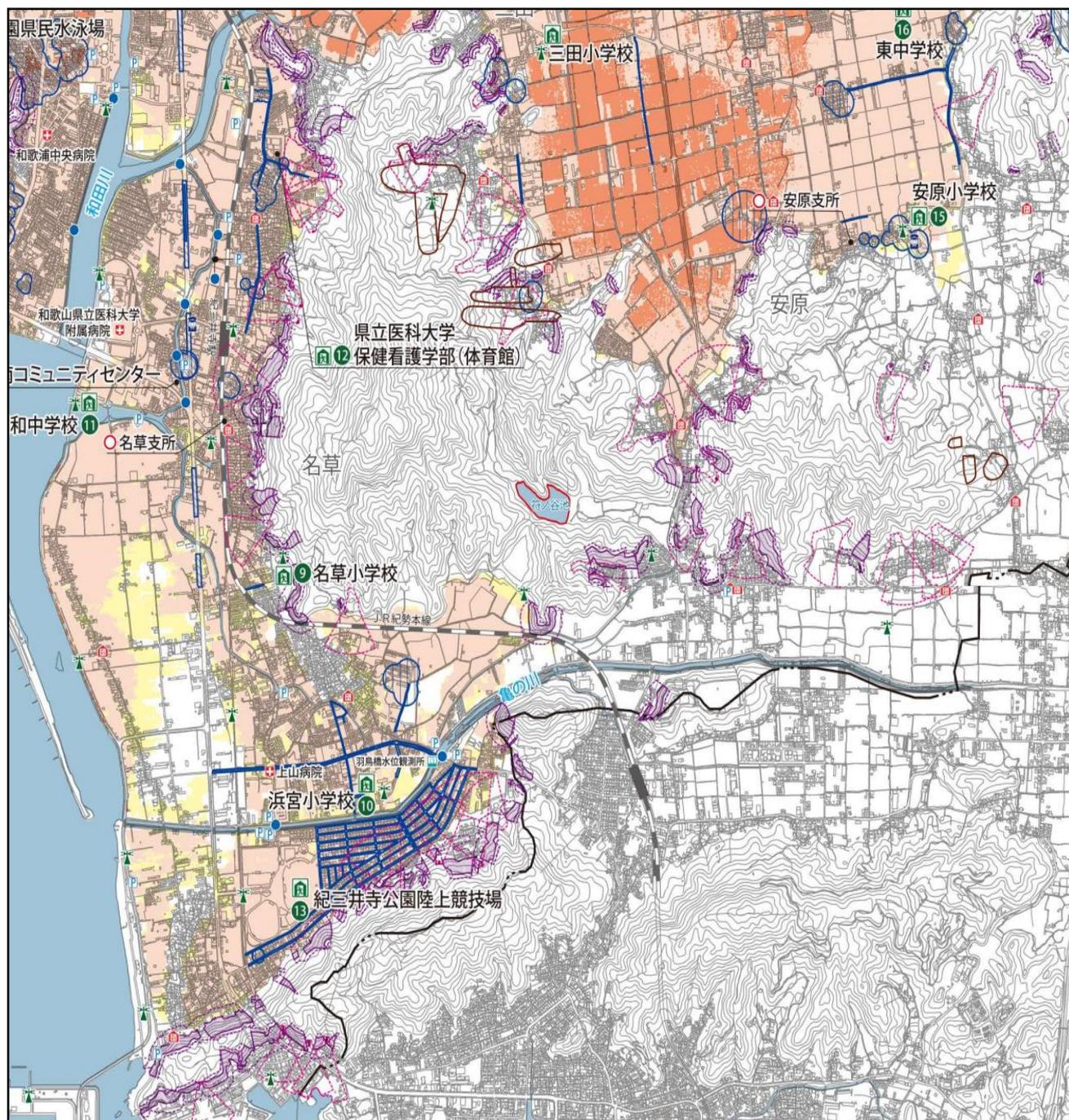


図 16 名草地区防災マップ（洪水）

(5) 内水

内水ハザードマップ

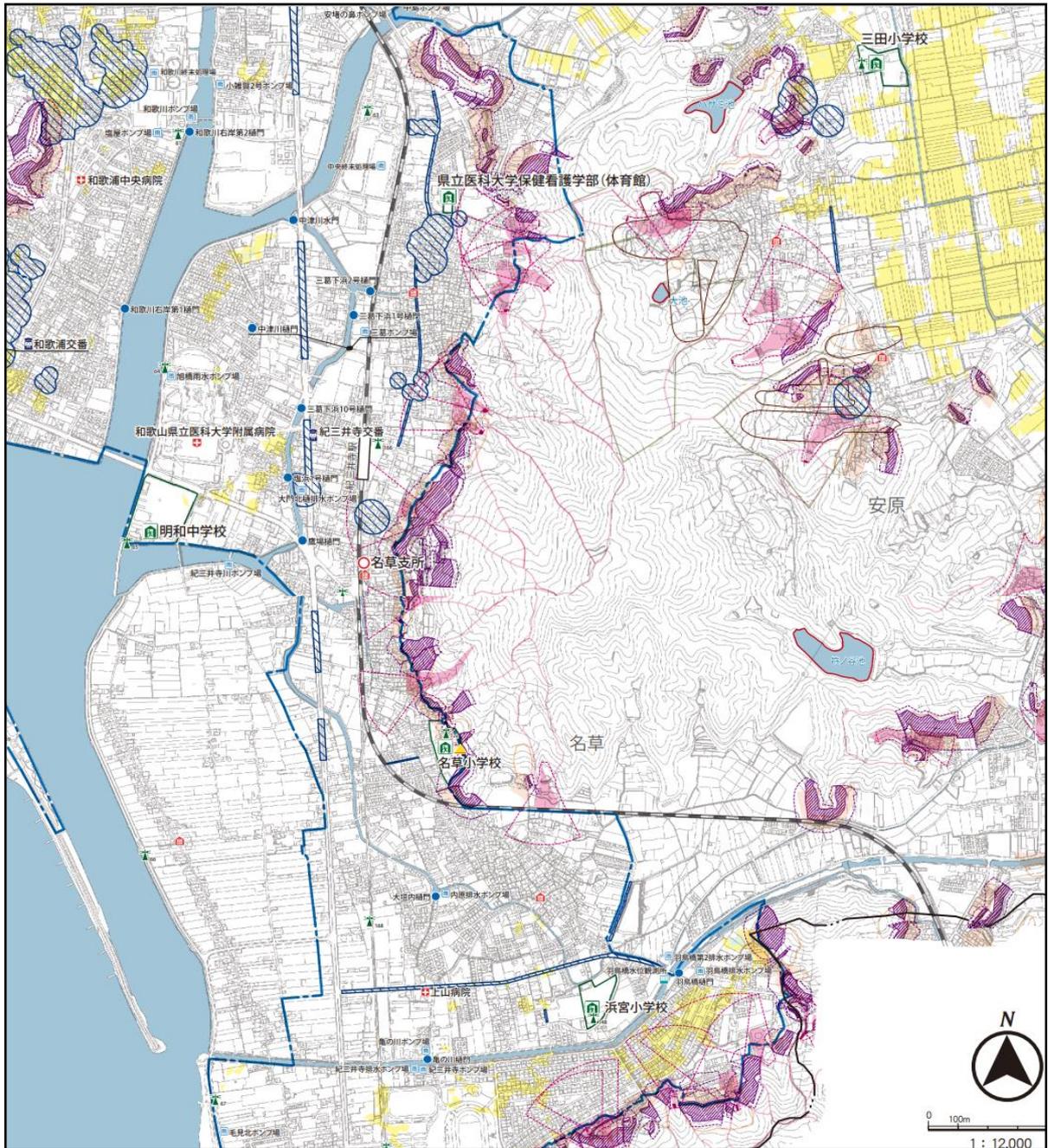


図17 名草地区防災マップ（内水）

2 防災活動

(1) 和歌山市名草地区防災会規約

(名称)

第1条 この自主防災組織の名称は、名草地区防災会(以下「防災会」という。)と称する。

(目的)

第2条 防災会は、災害対策基本法及び和歌山市地域防災計画の規定により、自主的な防災活動を行い、災害(地震のその他)による被害の防止及び軽減を図ることを目的とする。

(防災会の構成)

第3条 防災会は、地区で組織されている自治会に所属する者をもって構成する。

2 防災会に広報部、防火部、救出・救護部、避難誘導部及び給食給水部を置く。

(事業)

第4条 防災会は、第2条の目的を達成するため、次の事業を行う。

(1) 防災に関する知識の普及に関すること。

(2) 災害発生時における情報収集・伝達、初期消火、救出・救護、応急手当及び避難誘導に関すること。

(3) 防災訓練の実施に関すること。

(4) 防災資機材の備蓄に関すること。

(役員)

第5条 防災会には、次の役員を置く。

会長 1名

副会長 若干名

部長 5名

副部長 5名

(役員任期)

第6条 役員任期は、2年とする。ただし再任を妨げない。

(役員任務)

第7条 会長は、防災会を代表し、災害発生時には、応急対策の指揮をとる。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は、会長が欠けたときは、その任務を行う。

3 部長は、担当部の任務遂行及び処理を行う。

4 副部長は、部長を補佐し、部長に事故があるとき、又は部長が欠けたときは、その任務を行う。任者の残任期間とする。

(会 議)

第8条 防災会の会議は、定例総会、臨時総会及び役員会とする。

2 定例総会は、年1回名草地区の連合自治会総会に合わせて開催する。

3 臨時総会は、役員会又は会長が必要と認めたとき、召集する。

4 役員会は、構成員2分の1以上が出席(委任状を含む)しなければ開くことはできない。

5 会長は会議の長となり、議事を進行する。

6 会議の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(防災計画)

第9条 防災会は、災害による被害の防止及び軽減を図るため、防災計画を作成する。

2 防災計画は次の事項について定める。

(1) 防災組織の編成及び任部分担に関すること。

(2) 防災知識の普及に関すること。

(3) 防災訓練の実施に関すること。

(4) 災害発生時における情報収集・伝達、出火防止、初期消火、救出・救護、避難誘導及び炊き出しに関すること。

(5) その他必要とする事項。

(雑 則)

第10条 この規約に定めない事項で、防災会の運営に必要な事項は、会長が役員会に諮り定める。

附 則

この規約は、平成13年9月14日から実施する。

(2) 平常時における防災活動

項目	具体的内容	実施時期
防災訓練	<ol style="list-style-type: none"> 1 HUG(避難所運営ゲーム)を実施して避難所運営について理解を深める。 2 現地現物を利用した避難所レイアウト訓練を実施する。 3 避難所受付訓練などを実施する。 	
防災講座	和歌山市職員出前講座で「和歌山市の災害と防災対策」及び「マイタイムラインを作ろう～風水害に備えて～」を受講する。	
災害への備え	<ul style="list-style-type: none"> ・行政と連携し、住宅の耐震化・家具の固定や配置の重要性を周知するとともに、個人宅での備蓄を推奨する。 ・避難先や避難経路について家族と話し合う重要性を周知する。 	
安全点検	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内の危険個所を確認するために、まち歩きを実施する。 ・防災資機材の定期点検を行う。 	
要配慮者 支援体制の 整備	地区居住者と要配慮者が顔の見える関係を形成し、災害発生時に迅速に避難できるように、必要に応じて防災訓練の内容を考える。	

(3) 中長期的な活動予定

課 題	内 容	達成目標・ 時期
担い手の育成	和歌山県主催の防災士育成研修(紀の国防災人づくり塾)へ参加する。	
災害時協力 井戸の普及	災害時に水道が機能しなくなった場合に備え、生活用水を確保するために、協力井戸の周知・登録を呼びかける。	
マイタイムラインの普及	風水害時の避難に備えマイタイムラインの作成支援を行う。 ※マイタイムラインとは、避難に備え「いつ」、「何をするのか」を時系列に沿って決めておく防災行動計画のことです。	
地区内各種団体との協力・ 連携	消防団や連絡所と災害時の役割を決めておく。	

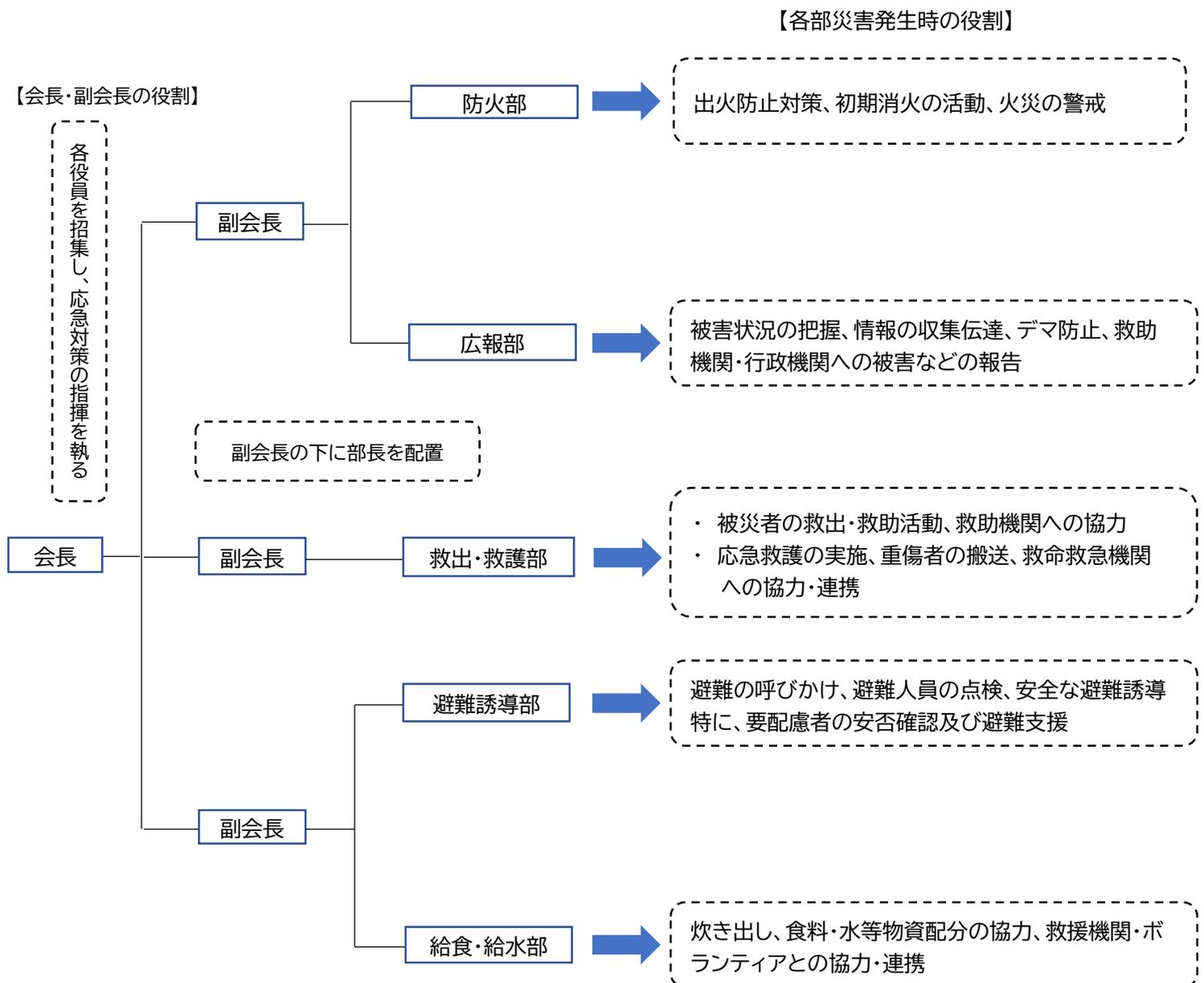
(4) 防災研修会の実施状況

項目	具体的内容	実施時期
防災研修会	1 項目: 防災講座 4 参加人数: 7名 2 場 所: 琴の浦自治会館 3 主 催: 琴の浦自治会	令和6年 9月7日 19時~19時30
	1 項目: 防災講座 4 参加人数: 33名 2 場 所: 自治会館 3 主 催: 三葛西1区自治会	令和6年 11月5日 10時30~11時

(5) 防災訓練の実施状況

項目	具体的内容	実施時期
防災訓練	避難訓練・施設見学 布引南自治会 紀州技研工業本社 約30人	令和6年 6月15日

(7) 災害時における防災活動



※ 上記のほか、市民用避難所運営マニュアルに基づき避難所運営を行う。

【初動期】 災害発生直後～3日程度

市職員(避難所運営員)を中心に避難所の開設:初動期は市職員の指示のもとで互いに協力する。

【展開期】 災害3日～1週間程度

- ・地域住民による避難所運営組織の形成:住民がお互いに協力し合い自主的な運営体制を確立する。
- ・市職員や施設管理者は後方支援することにより円滑な避難所運営を図る。

【安定期】 1週間～2週間

運営は、展開期と同じ。市職員及び施設管理者の支援のもとで管理・運営を行う。

【撤収期】 2週間～3か月程度

- ・閉鎖の判断は、避難所運営本部・避難所運営員・施設管理者が協議して決定する。
- ・避難所の閉鎖は、原則全避難者が退所した時点とする。

3 資料編

(1) 避難所・避難場所一覧

区分	所在地(電話)	指定区分	避難先 安全レベル
名草小学校	紀三井寺240 TEL 073-444-1030 FAX 073-444-4982	・ 避難所 ・ 避難場所	・ 洪水3 ・ 土砂1 ・ 津波2
浜宮小学校	内原778-16 TEL 073-445-8368 FAX 073-445-8369	・ 避難所 ・ 避難場所	・ 洪水3 ・ 土砂3 ・ 津波2
明和中学校	紀三井寺832-1 TEL 073-445-1207 FAX 073-444-3715	・ 避難所 ・ 避難場所 ※ 津波時浸水予想 区域のため開設し ない	・ 洪水3 ・ 土砂3 ・ 津波×
南コミュニティセン ター	紀三井寺856 TEL 073-494-3755 FAX 073-494-3744	・ 避難所	・ 洪水3 ・ 土砂3 ・ 津波1
県立医科大学保健 看護学部 (体育館)	三葛580	・ 避難所 ※ 津波時浸水予想 区域のため開設し ない	・ 洪水1 ・ 土砂3 ・ 津波×
紀三井寺児童遊園 東	紀三井寺1-56	避難場所 ※ 津波時浸水予想 区域のため使用不 可	・ 津波×
紀三井寺児童遊園 西	紀三井寺1-204	避難場所 ※ 津波時浸水予想 区域のため使用不 可	・ 津波×
三葛防災広場	三葛214-2	避難場所 ※ 津波時浸水予想 区域のため使用不 可	・ 津波×

区分	所在地(電話)	指定区分	避難先 安全レベル
和歌山県子ども・女性・障害者相談センター	毛見1437-218	津波避難ビル	・ 津波1
琴の浦リハビリテーションセンター	毛見1451	津波避難ビル	・ 津波1
紀三井寺公園陸上競技場	毛見200 TEL 073-444-7565 FAX 073-444-9272	・ 避難所 ・ 避難場所	・ 洪水3 ・ 土砂3 ・ 津波1
中央終末処理場	三葛510-1	津波避難ビル ※屋上サッカー場	・ 津波1
紀三井寺苑	紀三井寺560-2	津波避難ビル	・ 津波1
ファッション毛見	毛見10-2	津波避難ビル	・ 津波1
ファッション毛見Ⅱ	毛見8-1	津波避難ビル	・ 津波2
和歌山マリーナシティホテル	毛見1517	津波避難ビル	・ 津波1
紀三井寺ガーデンホテルはやし	紀三井寺756	津波避難ビル	・ 津波1
ローパス三葛	三葛247-1	津波避難ビル	・ 津波1
ビレッジハウス紀三井寺(1~3棟)	紀三井寺342	津波・洪水 避難ビル	・ 洪水3 ・ 津波1
ビレッジハウス紀三井寺(4~6棟)	紀三井寺1-28	津波・洪水 避難ビル	・ 洪水3 ・ 津波1
県営三葛団地2号棟	三葛484	津波・洪水 避難ビル	・ 洪水3 ・ 津波1
紀州技研工業株式会社(本社ビル)	布引466	津波・洪水 避難ビル	・ 洪水3 ・ 津波1
メトロヒルズ	三葛137-1	津波避難場所	・ 津波1
本久寺	毛見423-1	津波避難場所	・ 津波2

区分	所在地(電話)	指定区分	避難先 安全レベル
紀三井寺 護国院	紀三井寺1201	津波避難場所	・ 津波3
名護山霊園	紀三井寺1301-1	津波避難場所	・ 津波3
名草山周辺 (内原神社)	内原25	津波避難目標地点	・ 津波3
名草山周辺 (正行寺)	三葛869	津波避難目標地点	・ 津波3
みちる保育園周辺	毛見	津波避難目標地点	・ 津波3
船尾山ハイキング コース	海南市船尾	津波避難目標地点	・ 津波3
峰の地藏尊	毛見	津波避難目標地点	・ 津波3
紀の川工水洞より 高台	内原	津波避難目標地点	・ 津波3
NTT跡地周辺	三葛	津波避難目標地点	・ 津波3
紀三井寺公園	毛見200	広域避難場所	

(2) 自主避難所一覧

施設名	所在地(電話)
紀三井寺自治会館	紀三井寺742-10
善福寺	毛見1219

(3) 福祉避難所

施設名	所在地(電話)	受入対象者
琴の浦リハビリテーションセンター	毛見1451 (073-444-3141)	・ 肢体不自由者

(4) 緊急時の連絡先・災害用伝言ダイヤル

□ 緊急時の連絡先

行政機関	和歌山市消防局	073-422-0119	ライフライン	和歌山市企業局	073-435-1124
	和歌山県警察本部	073-423-0110		関西電力(株) 電気設備に関する お問合わせ(停電等)	0800-777-3081
	和歌山市耕地課	073-435-1051		西日本旅客鉄道(株) お客様センター	0570-00-2486
	和歌山市総合防災課	073-435-1199		【電話】会社名：	
公共医療機関				【ガス】会社名：	
			その他		

※【電話】・【ガス】は契約会社に確認して記入してください。

□ 災害用伝言ダイヤル(171)

災害用伝言ダイヤル(171)は、「声の伝言板」(安否情報)の役割をする電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間で、伝言の録音・再生をすることができます。

「171」をダイヤルし、ガイダンスに従って伝言の録音・再生をしてください。

伝言の録音 1 7 1 + 1 + 被災地の人の電話番号 (市外局番から) → 録音

伝言の再生 1 7 1 + 2 + 被災地の人の電話番号 (市外局番から) → 再生

(5) 避難行動の考え方



ひなん
「避難」って
何すれば
いいの?

小中学校や公民館に行くことだけが避難ではありません。
「避難」とは「難」を「避」けること。
下の4つの行動があります。



行政が指定した避難場所 への立退き避難

自ら携行するもの
・マスク
・消毒液
・体温計
・スリッパ 等

小・中学校
公民館

安全な親戚・知人宅 への立退き避難

普段から災害時に避難
することを相談して
おきましょう。

※ハザードマップで安全か
どうかを確認しましょう。

親戚・知人宅

普段から
どう行動するか
決めておき
ましょう

安全なホテル・旅館 への立退き避難

通常の宿泊料が必要
です。事前に予約・
確認しましょう。

※ハザードマップで安全か
どうかを確認しましょう。

ホテル
旅館

屋内安全確保

ハザードマップで以下の
「3つの条件」を確認し
自宅にいても大丈夫かを
確認することが必要です。

——— 想定最大浸水深

※土砂災害の危険がある
区域では立退き避難が
原則です。

ここなら安全!

「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない
(入っていると…)

流速が速いため、
木造家屋は倒壊する
おそれがあります

地面が削られ家屋は
建物ごと崩落する
おそれがあります

② 浸水深より居室は高い

3・4階	5m~10m未満 (3階床上浸水~4階軒下浸水)
2階	3m~5m未満 (2階床上~軒下浸水)
1階	0.5m~3m未満 (1階床上~軒下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)

③ 水がひくまで我慢でき、
水・食糧などの備えが十分
(十分じゃないと…)

水、食糧、薬等の確保が困難になる
ほか、電気、ガス、水道、トイレ等の
使用ができなくなるおそれがあります

※①家屋倒壊等氾濫想定区域や③水がひくまでの時間(浸水継続時間)はハザードマップに記載がない場合がありますので、お住いの市町村へお問い合わせください。

豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認して下さい。

出典：「避難情報に関するガイドラインの改定（令和3年5月）」（内閣府）
(https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/)

(6) 災害時の情報入手先

内 容	二次元コード等
防災情報電話案内サービス 防災行政無線の放送内容を聞くことができる。	0120-077-199
和歌山市防災情報メール 防災行政無線の放送内容をメールで確認することができる。	
和歌山市ホームページ	
和歌山地方気象台ホームページ	
関西電力停電情報	
和歌山県防災ナビ 避難に役立つ機能を備えている。 ・ 避難先検索 ・ 避難カードの共有 ・ 家族の居場所確認 ・ ルートナビ ・ 避難トレーニング ・ 防災情報通知	

(9) 災害「備え」チェックリスト

【非常用持ち出し袋】

～ 避難の際に持ち出すもの ～



- いざというときに速やかな避難ができるように、必要最小限のものをリュックサックなどにまとめておきましょう。
- 家族構成を考えて他に必要なものがあれば用意しておきましょう。

飲料水・食料(最低1日分 飲料水/500mlペットボトル2本 食料(調理不要なもの/3食分)

- 飲料水
- 食料 (アルファ化米・乾パン・レトルト食品・飴・チョコ・固形栄養食など)
- ヘルメット
- 衣類・下着
- レインウェア
- 懐中電灯
- マッチ・ろうそく
- 携帯トイレ
- ビニール袋
- 予備電池
- 軍手
- 救急用品(絆創膏等)
- 洗面用具
- 携帯ラジオ
- 携帯充電器
- タオル
- アルミブランケット
- 筆記具
- ホイッスル
- 緊急連絡先カード

《感染症対策にも有効です!!》

- マスク
- 体温計
- 消毒用アルコール
- ウエットティッシュ
- ハンドソープ

【子供がいる家庭の備え】

- ミルク
- 哺乳瓶
- 離乳食
- 子供用紙おむつ
- 携帯用お尻洗浄機
- おしりふき
- 子供の靴
- 抱っこひも
- 携帯カトラリー
- ネックライト
- 衣類

【女性の備え】

- 生理用品
- おりものシート
- サニタリーショーツ
- 中身の見えないごみ袋
- 防犯ブザー
- ポンチョ (携帯トイレ用)

《一緒に持出しましょう!!》

- 現金
- 通帳
- 免許証
- 健康保険証
- パスポート
- マイナンバーカード
- 常備薬
- お薬手帳
- 健康の維持管理上必要なもの

【非常備蓄品】

～自宅に備えておくもの～

- 非常備蓄品として、飲料水・食料、その他生活用品を自宅に備えておきましょう。
- 7日間分を目安に備えましょう。

- 飲料水
- 食料 (アルファ化米・乾パン・レトルト食品・飴・チョコ・固形栄養食など)
- 毛布
- ラップ
- 簡易トイレ
- トイレットペーパー
- カセットコンロ
- ウエットティッシュ
- ポリタンク
- ビニール袋(大・中・小) 等



安否確認表示

Safety Confirmation Display

黄色い布は「無事です!!」の目印!

安否確認表示とは、在宅者全員の無事を確認できたとき、黄色い布を玄関やポストなどの確認しやすい場所へ掲げることにより、救助する者が安否を確認しやすくなることで、地域における迅速な救助活動を促すものです。

黄色い布がないとき

応答があるまで**無事**が確認できません。



黄色い布があるとき

外から見るだけで**無事**とわかります。



みなさまへお願い

- ① 普段は、玄関付近(例:下駄箱等)に非常用持出袋と一緒に置き、すぐに出せるように保管してください。
- ② 大規模な地震発生後、在宅者全員の無事を確認し、全員無事るとき黄色い布を玄関先等に掲示してください。
- ③ 避難する際は、主幹ブレーカーを切り、ガスの元栓を閉め、施錠をする等「安全・防犯」処置をした上で避難するようにしてください。

【問い合わせ先】
和歌山市
危機管理局 危機管理部 地域安全課

〒640-8157 和歌山市八番丁12番地
電話 073-435-1005
FAX 073-435-1278